4ウェイタイプ 取扱説明書









ご使用になる前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください。

また、取扱説明書は必ず保管してください。

本品を他のお客さまにお譲りになるときには、必ず取扱説明書もあわせてお渡しください。



安全にお使いいただくために。

⚠警告

●使用いただけるお子さまの年齢は、

ヨコ抱っこ………0ヵ月から6ヵ月(体重8kg)まで 対面抱っこ・前向き抱っこ……首がすわってから12ヵ月(体量11.3kg)まで

おんぶ………昔がすわってから30ヵ月(体量14.9kg)まで

- ●ヨコ抱っこは、必ずスリーピングサポート、すやすやマットを使用してください。
- ●ヨコ抱っこは、必ず後頭部と臀部を手で支えてください。
- ●対面抱っこ、おんぶ、前向き抱っこは、首のすわらないお子さまには使用しないでください。
- ●対面抱っこのスリーピングサポートは、12ヵ月(体重11.3kg)までとしてください。
- ●対面抱って、前向き抱っては、必ず手で支えてください。
- ●バックル、ホックは、確実にとまっているか確認してください。
- ●使用の際は、走ったり、跳んだり、極端な前かがみ等、無理な姿勢はぜったいにしないでください。

⚠注意

- ●授乳後、約30分間位、または連続2時間以上の使用はしないでください。
- ●使用の際は必ず使用者のからだにあわせて各ベルトとテープを調節してください。
- ●ベルト先端の返し縫い部は、ほどいたり、切り落としたりして使用しないでください。
- ●お子さまの出し入れは、安全な場所で必ず腰をひくくした姿勢で行ってください。 なお、他の人に手伝ってもらうとより安全です。
- ●製品を洗濯する際は、製品に付いている洗濯絵表示にしたがってください。
- ●やぶれ、ほつれ、傷等、または、バックル、ホック等が破損した場合は使用しないでください。
- ●バックルの着脱時に、お子さまの皮膚等をはさまないように注意してください。

取り扱いを誤った場合、お子さまの転落等、ケガや危険の恐れがあります。 安全に使用していただくために、必ずお守りください。

各部の名称



肩ベルトの調節のしかた



高ペルトのバックルを立てるように 持ち、本体側の高ペルトをそのまま ヨコにひっぱります。



高ベルトのバックルを持ち、余っている側の高ベルトをそのままヨコにひっぱります。

背テープの調節のしかた





バックルを立てるようにして持ち上 げ、下側のテープをひっぱります。



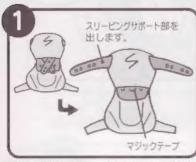
バックルの側面を持ち、上側のテープ をひっぱります。

スリーピングサポート部の装着方法

- ●ヨコ抱っこでは必ずご使用ください。
- ●対面拠っこでは、参ちゃんのおねむのときなど、状況にあわせてお使いください。
- ●対面抱っこの使用月齢は、首がすわってから12ヵ月(体重11.3kg)までとしてください。
- ●おんぶ・前向き抱っこ時は、スリービングサポートのご使用はできません。



ヨコ抱っこの時の装着方法



頭当てをすやすやマットに着し込み、装着し ます。このとき、ウラとオモテを間違えない ようにご注意ください(マシックテープが付いている面がオモテです)。



登薦した領当で、すやすやマットのホックと マジックテープを、本体のホックとマジック テープにとめます。※ホック、マジックテー ブは必ずと時でご使用ください。



すやすやマットの固定用マジックテーブをそれぞれ左右の定ぐりに適します。



足ぐりに適した固定用マジックテーブはアウトカバー側中に入れて、マジックテープでとめます。

5

頭当てのスリーピングサポート舗を高ペルトの ロリングに適して、ホックをとめます。左右のホックをとめてください。

深ホックは必ず2ヵ所とめてください。

△警告

必ず頭当てをすやずやマットに養癒し、 頭当てのスリービングサポート部をD リングに通してホックをとめてください。 ヨコ抱っこの時は、必ず頭当で・すやす やマットをお使いください。

対面抱っこの時の装着方法





頭当てのスリーピングサポート層を出します。



スリービングサポート研をDリングに適し、ホックをと思ます。

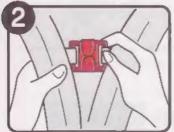
※書ックは必ず2カ所とめてください。 ※対面抱っこの場合、スリーピングサポートは、 12世段(体重11.3g)までとしてください。

前向き抱っこ用アジャスターのとめかた



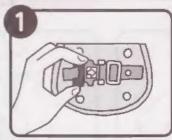


前向き抱っこ用アジャスターはア ウトカバーの中にあります。 左右のアジャスターをクロスさせ るようにします。

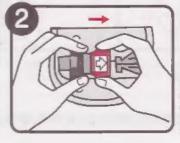


パチンと音がするまで、しっかりと めます。

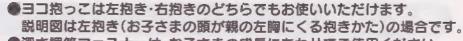
ブリッジバックルのはずしかた



プリッジテーブ看得ち、図のように指 でバックルをしっかり押さえます。



矢印があるバックルの側面を持ち、矢 印の方向にパックルを動かします。こ のときカチッと音がするまで動かし てください。ブリッジバックルがはず れます。



●深さ調節ファスナーは、お子さまの成長にあわせてご使用ください。

ングサポートを装着し、以下の準備はお子さまをのせる前に行ってください。



お子さまをのせる前に肩ベルトを調節します。左右 の肩ベルトを重ねあわせ、ななめ掛け(肩から脳にか けてななめに掛ける)にして、肩ベルトの長さを確認 します。お子さまの頭が親の胸に、お子さまの臀部が 親のウエストの位置にくるように調節してください。



詳しくは···P.2

生後から首がすっる(6カロニ体里8kg)頃まで

「スリーピングサポート部の装着方法・ヨコ 抱っこの聲の装着方法」の説明をよくお原 みのうえ、必ず正しく装着してください。



周ベルトのバックルを立てるように持ち、 本体側の属ベルトをそのままヨコにひっ **ぱります。**



隔ベルトのバックルを持ち、余っている 町の薄ベルトをそのままヨコにひっぱり ます。



余った肩ベルトはアウトカバーの中に入れて、ウ エストバックルでとめておきます。



安全な場所に本体を広げて置き、お子さまを寝かせ ます。お子さまの屋を左右の足ぐりに通し、肩ベル トとスリービングサポート部の間から腕を出します。 お子さまの頭頂部がすやすやマットのガード部に 圧迫されない位置に寝かせてください。



屑ベルトをかけるときは、本体を■いたままの状態 で親の頭をお子さまの方に近づけ、親の頭を肩ベル トにくぐらせ、腕をとおし、ななめ掛けにかけます。 お子さまの安全のために、鳥ベルトや本体を持ち上 げて隣にかけたりしないでください。



属ベルトを肩にかけたら親のからだを起こします。 お子さまの後頭部と臀部に手をあてて支えます。

ヨコ抱っこでの使用は、必ずスリービングサボート(頭当て・すやすやマット)を装着し、左右の 肩ベルトに付いているDリングに通してホックをとめ、お子さまの後頭部と臀部を手で支えて お使いください。

お子さまの出し入れは、安全な場所で必ず腰をひくくした姿勢で行ってください。なお、他の人 に手伝ってもらうとより安全です。

- ●すやすやマットはご使用できません。
- ●深さ調節ファスナーは、お子さまの成長にあわせてご使用ください。
- ●首のすわらないお子さまには、ご使用できません。



頭当てのスリーピングサポート部を収納します。



属ベルトを長めに調節しておき、背中でクロスするように開ベルトのバックルをとめます。 ※属ベルトの調節はP1の「傷ベルトの調節のしかた」をお読みください。



どちらか一方の肩ベルトを肩からおろします。



安全な場所で、親が座った状態で、向きあうよう にお子さまを抱き上げ、お子さまの足を左右の足 ぐりに通します。

お子さまの出し入れは、安全な場所で必ず腰をひくくした姿勢で行ってください。なお、他の人に手伝ってもらうとより安全です。



おろしておいた肩ベルトを属にかけます。層ベルトはお子さまの腕の下を通し、お子さまの肌を出してください。



お子さまを片手で抱き寄せ、調ベルトの長さを調 節します。余ったベルトの長さは、左右同じにし ます。

詳しくは…P.2

「スリーピングサポート圏の装着方法・対面抱っこの時の装着方法」の説明をよくお読みのうえ、必ず正しく装着してください。



余った肩ベルトはウエストにまわし、ウエストバックルでとめます。肩ベルトの余りは使用者によって長さが異なります。肩ベルトの余りが短い方は、おなかの前でとめてください。



お子さまを必ず手で支えてください。 スリービングサポートは、お子さまがおねむのと きなど、状況に合わせてお使いください。



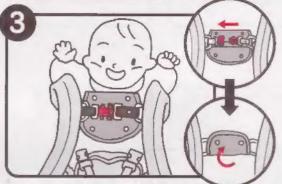
- ●すやすやマット、スリーピングサポート部はご使用できません。
- ●深さ調節ファスナーは、お子さまの成長にあわせてご使用ください。
- 首のすわらないお子さまには、ご使用できません。



頭当てのスリービングサポート部を収納します。



お子さまの足を左右の足ぐりに適して強かせます。 層ベルトは、お子さまの器の下を適るようにして ください。



プリッジテープをセットします。層ベルトに付 いている左右のDリングにブリッジバックル を通し、バックルをとめます。図のようにホッ クをとめてください。



図のように調べルトのバックルをとめ、リュック 式にします。 耳ベルトは、クロスさせないでください。



バックル無脱時は、お子さ



親は腹をひくくした姿勢をとります。肩ベルトを 持って、お子さまを引き寄せるようにして背中に のせます。左右の層ベルトに親の腕を通します。



お子さまと種の背中が置着するように、左右の背 ベルトの長さを興節します。左右の肩ベルトを同 じ長さにします。



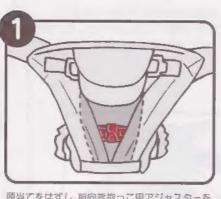
余った層ベルトはウエストにあわせて長さを調 節し、ウエストバックルをおなかの前でとめます。

お子さまの出し入れは、安全な場所で必ず腰 をひくくした姿勢で行ってください。



お子さまを背負うとき、おろすときは、他 の人に手伝ってもらうとより安全です。

- - ●頭当て、すやすやマットはご使用できません。
 - ●深さ調節ファスナーは、お子さまの成長にあわせてご使用ください。
 - 首のすわらないお子さまには、ご使用できません。



頭当てをはずし、前向き抱っこ用アジャスターを とめます。※前向き抱っこ用アジャスターのとめ かたは、P2の「前向き抱っこ用アジャスターのと めかた」をお読みください。



肩ベルトを長めに鍋節しておき、背中でクロスす るように同ベルトのバックルをとめます。※層ベルトの調節は、P1の「層ベルトの調節のしかた」を お読みください。



首がすわってから12ヵ月(体重11.3kg)頃まで

どちらか一方の層ベルトを聞からおろします。



安全な場所で、親が座った状態で、お子さまを罰 向きに抱き上げ、お子さまの足を足ぐりに適します。



おろしておいた周ペルトを同にかけます。同ペル トは、お子さ国の脇の下を通し、お子さ画の腕を 出してください。



畏めにしておいたドベルトを調節します。お子さ まの頭頂部が親のあごのあたりにくるようにし ます。

お子さまの出し入れは、安全な場所で必ず腰 をひくくした姿勢で行ってください。なお、 他の人に手伝ってもらうとより安全です。

背テープのしめすぎ、ゆるめすぎにご注意く たさい。



背テープを調節して、お子さまのからだが安定す るようにしてください。※背テープの調節は、P1 の「背テーブの関節のしかた」をお読みください。



余った肩ベルトはウエストにまわし、ウエストバックルでとめます。肩ベルトの余りは使用者によって長 さが異なります。肩ベルトの振りが短い方は、おなかの前でとめてください。



お子さまの胸のあたりに手をあてて支えてください。

お手入れ方法・

- ●色落ちすることがあります。他のものとは別に洗ってください。
- ●洗濯機、脱水機、乾燥機にかけないでください。
- ●漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は使用しないでください。

※安全基準等により、仕様が予告なしに変わることがあります。 製品には万全を期しておりますが、 お気づきの点がございましたら下記までご連絡ください。

LUCKY INDUSTRY CO., LTD.